



子どもといっしょに学ぼう

2回連載(前編)

「放射能ってなに？」

親子で放射能について考える
きっかけにしてみてください。
「後編」は8月3回の『放射能レポート』で掲載予定です。

2011年の原発事故以来、放射能について子どもたちにわかりやすく伝える学習会や学校での特別授業を続けている東京大学大学院助教の小豆川勝見さん。深刻な被害をもたらした原発事故から10年がたちましたが、「残念ながら、いまの子どもたちが大人になったときも原発災害は片付いていません。ですから、もっと身近な問題として子どもたちに放射能のことを知ってほしいのです」と話します。今回からの連載では、小学校で行った授業で子どもたちから寄せられた率直な質問と小豆川さんからの回答をもとに、放射能の基礎知識をご紹介します。

※「前編」は基礎的な内容です。「後編」では原発事故後の放射性物質などについて取り上げる予定ですので、ご覧ください。

Q 放射能とか放射線ってなに？

A たくさん浴びるとからだに悪い影響が出てしまう「放射線」。放射線を出す能力のことを「放射能」といいますが、放射線を出す能力がある物質(放射性物質)のことを放射能と呼ぶこともあります。



Q 人のからだにも放射性物質はある？

A 「カリウム40」と呼ばれる放射性物質などがあります。食べ物にも含まれているので、からだから出ていく分があっても、いつも大体同じ量の放射性物質が体内にとどまって、放射線を出しています。その放射線によって細胞は傷つきますが、からだには傷ついた細胞を治す機能があります。でも、放射性物質がたくさん含まれている食品を食べると、治すスピードが追いつかなくなってしまいます。食品の検査結果を知って選ぶことも大切です。

※カリウムは塩分のとり過ぎを調整するなど人体に必要なミネラルです。ただ、人間の体は放射性物質のカリウム40と、そうではないカリウムを区別することはできません。



考えてみよう / 小豆川さんからの問題です

2011年の原発事故で飛び散った放射性物質は、量にすると全部でどのくらいだったでしょう？

- ① 手で持てるくらい
- ② 車1台分くらい
- ③ ビル1個分くらい

(答えは8月3回『放射能レポート』で)



東京大学大学院の助教・小豆川勝見さん。原発周辺での測定や食品の分析も行っています

Q 放射線を浴びたら、どう感じる？

A からだに影響のあるレベルの放射線を浴びても、その瞬間には痛くもかゆくもないと思います。でも、細胞レベルでは大変なことが起きているんです。からだのなかでは常に古い細胞が死んで新しい細胞が生まれていますが、大量に放射線を浴びると新たに細胞を作る能力がダメになってしまいます。そういうことが起こらないように、放射性物質はきちんと管理しなければなりません。

Q レントゲン検査でどのくらい放射線を受ける？

A レントゲン検査の装置や撮影する枚数などによっても変わりますが、レントゲン1枚で受ける放射線の量は、ふだんの生活で自然界や食物から受ける10～15日分になります。



パルシステムは、お届けする食品や飲料などの放射能検査を国より厳しい基準で行っています。

Q 放射能検査状況について

2021年度の検査数(カッコ内は検出件数) / 2021年6月10日現在
※最新の検査状況は下記左側の二次元コードよりご覧いただけます。

総計: 403(5) 不検出率: 98.8%

2020年度の検査数 総数2138(31) 不検出率98.6%

青果	97(0)	2020年度、れんこん(3.5~7.8Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。	牛乳、肉、卵	18(0)	産地ごとに定期的に検査しています。2020年度に続き、6月10日現在で放射能の検出はありません。
しいたけ	6(5)	生しいたけ(5.5~9.0Bq/kg)と、2020年度は岩手県産乾しいたけ(5.0Bq/kg)、産直原木しいたけ(カット)80g(11Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。	魚介類	21(0)	2020年度に続き、6月10日現在で放射能の検出はありません。
他のきのこ類	11(0)	2020年度に続き、6月10日現在で放射能の検出はありません。	飲料水・飲料	15(0)	2020年度に続き、6月10日現在で放射能の検出はありません。
米・米飯類	0(0)	2020年産米の検査は27産地29検体の玄米で検査し、栃木こしひかり(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。白米で再検査したところ不検出でした。 ※放射能の多くはぬか部分に蓄積します。検出された栃木こしひかりは白米でのお届けとなります。	乳幼児用食品	43(0)	2020年度に続き、6月10日現在で放射能の検出はありません。
			その他加工食品	192(0)	2020年度、ほしいも(3.0Bq/kg)から放射能が自主基準内で検出されました。

※乳幼児用食品のみ検出下限値1Bq/kg、その他は検出下限値3Bq/kg。



●週次の「放射能関係のお知らせ」はインターネットに掲載しています。

●インターネットから見られない方はこちらにお問い合わせをお願いします。

パルシステム東京・パルシステム神奈川・パルシステム千葉・パルシステム埼玉・パルシステム茨城 栃木・パルシステム福島・パルシステム静岡・パルシステム新潟ときめき

パルシステム
問合せセンター

0120-868-014

月～金曜日: 9時～20時
土曜日: 9時～17時

※通話料は無料です。 ※お問い合わせ内容の確認とサービス向上のために、通話の内容を録音しております。

パルシステム山梨 甲斐センター ■0120-28-5891 高崎センター ■0120-60-5118
西桂センター ■0120-32-1061 渋川センター ■0120-36-3315
一宮センター ■0120-21-9898 東毛センター ■0120-63-3735
※センターによって、携帯電話からはご利用できない場合があります。